

森林体験イベント in 奥多摩 2025 の報告



開催日：2025 年 11 月 15 日 (土)
参加人数：12 名

今年は「木を“伐る”から“使う”までの流れ」をテーマにしたイベントを開催し、12 名の方にご参加いただきました。

午前は「森林整備体験ツアー」として、間伐見学・体験やサシェづくりを実施。午後は「木材とふれあう体験」として、製材所の見学と丸太切り・丸太パズル・切り株グラグラの 3 種目に挑戦しました。

参加者の皆さんには、東京の森で木とふれあう体験を通じて、「伐る」から「使う」までの流れを楽しく学んでいただけたようです。

「森林整備体験ツアー」(間伐見学・体験、サシェづくり)

間伐見学・体験では、森を守るために欠かせない間伐の作業を間近で見学し、実際に体験することができました。木が倒れる迫力ある瞬間には、参加者の皆さんも思わず見入っていました。

サシェづくりでは、それぞれが好きな素材を選び、世界に一つだけのオリジナルサシェを制作。完成したサシェからは、森の豊かな香りが広がり、自然を身近に感じるひとときとなりました。



昼食

午前の体験を終えた後は、東京都産のヤマメを丸ごと使った贅沢なお弁当をいただきました。奥多摩町の雄大な自然に囲まれて味わうことで、さらに美味しさが増し、参加者の皆さんからも大変好評でした。



「木材とふれあう体験」(製材所見学)



製材所では、大型の製材機械を間近で見学しました。スタッフの方から木材の価格や節の特徴について説明を受け、クイズ形式で楽しく学ぶ時間もありました。

参加者の皆さんは、木材がどのように加工され、私たちの生活に届くのかを知ることによって、木の魅力をより深く感じていただけたようです。

「木材とふれあう体験」(丸太切り・丸太パズル・切り株グラグラ)

A チームと B チームに分かれて、丸太切り・丸太パズル・切り株グラグラの 3 種目で勝負しました。

丸太切りでは、切るたびに木くずから森の心地よい香りが漂い、自然を感じながらの作業に皆さん夢中。丸太パズルは予想以上に難しく、悩む声が聞こえました。

切り株グラグラでは、途中で何度も崩れながらも、最後まで諦めずに積み上げる姿が印象的でした。結果は B チームの勝利！

勝負に熱中する皆さんの笑顔がとても素敵でした。



ご参加いただいたみなさまありがとうございました。
また、来年のご参加をお待ちしております！



公財団法人 東京都農林水産振興財団
Tokyo Development Foundation for Agriculture, Forestry and Fisheries

花粉の少ない森づくり運動担当